

地域の実情と課題

さまざまな理由で困難を抱える女性も多く、個々の環境や悩みごとをコロナ禍により拡大・顕在化されている。また、依然として女性への家事・育児・介護負担が大きいことや女性失業者の増加等による生活の不安も要因となっている。

事業の特徴

おむつ、マスク、生理用品等の物資を関連施設を通じて提供する。また、生理用品は、市内の公立小・中学校の協力により児童・生徒への提供を行う。

事業の効果

提供場所を、男女共同参画センター、生活福祉課、子ども家庭支援センター、子ども図書館、いっぽ(きよせ生活相談支援センター)とし、生活や子育てに関する相談に訪れた方へのアプローチができた。また、小・中学校は、生理用品の提供場所を保健室から順次女子トイレへ移行した。生理用品提供数356パック(令和6年2月末現在)相談事業の名称見直しなど一部変更を実施したことにもよるが、相談件数増加94回(昨年度比)となった。

目的・目標

おむつ、マスク、生理用品などの物資を提供により、困難を抱える女性を支援する。同時にプロジェクトカード・チラシを添付し、事業の周知を図る。
相談件数増加25回(昨年度比)

連携団体

NPO法人ダイバーシティコミュ
きよせ生活相談支援センター いっぽ

今後の課題

提供実績から生理の貧困は、コロナ禍が収束に向かいつつある現在においても解決はしていない。今後の継続に関しては、更なる状況把握が必要である。

事業の概要

生活用品の無償配布

様々な事情でお困りの女性へ生活用品をお渡しします。あわせて、配布物には市などが実施している相談窓口の一覧も同封します。

◆おむつ 新生児・S・M・L・ビッグサイズ◆生理用品（紙袋に入れてお渡しします。）◆マスク

生理用品提供実績 令和3年度113パック(12月～3月) 令和4年度537パック 令和5年度356パック(2月まで)

生活用品の提供

[配布場所]

- ◆ 清瀬市役所 生活福祉課
[住所] 中里5-842 本庁舎1階
- ◆ 男女共同参画センター
[住所] 元町1-2-11 アミュービル4階



- ◆ 子ども家庭支援センター
[住所] 中里5-842 しあわせ未来センター2階
 - ◆ いっぽ(きよせ生活相談支援センター)
[住所] 元町1-11-21 1階北側
 - ◆ 元町こども図書館
[住所] 元町1-6-6 清瀬けやきホール3階
- ※不織布マスク、生理用品のみ配布しています。

詳細はこちら

